

## 2015年度総会報告

東大和障害福祉ネットワークの第10回定期総会&学習会が、6月23日(火)午前10時より向原市民センターにて開かれました。小川障害福祉課長・西田係長にご出席いただき、ネットワーク役員を含めて総勢40名の参加がありました。また、当日はご寄附をいただきありがとうございました。

第1部の「総会」は2014年度活動報告・会計・監査報告に続き、2015年度予算案と活動計画案の提案があり全会一致で承認されました。そして2015年度に向けての中で、海老原前代表より代表交代の挨拶と説明があり、新代表に東大和市視覚障害者福祉協会の水谷雅弘さんが、推薦され承認されました。新しい役員の紹介もあり東大和障害福祉ネットワークは、新たな体制でスタートする事になりました。

新代表の水谷雅弘さん



海老原前代表  
 九年間ご苦労さまでした!

第2部は東大和市社会福祉協議会の鎌田氏・浅見氏のご協力で「東大和市災害ボランティアセンター」についての紹介と説明がありました。災害時に要配慮者の人達が必要とするニーズを、当事者・関係者である私たちが日ごろから話し合い、その声を届ける事が必要だと思えます。今後ネットワークは「災害ボランティアセンター協議会」に参加して行くことになりました。当事者・関係者の視点で提案・要望を発信していきたいと思えます。

今後も、東大和障害福祉ネットワークは皆さまの協力によって、ますます活動を強めていきたいと思えます。どうか、ご協力の程よろしくお願ひします!!



学習会の様子

## 東大和障害福祉ネットワーク 新代表の挨拶



皆様こんにちは。平素は、東大和障害福祉ネットワークの活動に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私は、この6月23日の本ネットワーク総会にて、東大和障害福祉ネットワークの代表を務めることになりました水谷雅弘と申します。

本ネットワークは設立以来9年もの歳月を積み重ねてきました。その間、当初から代表を務められていた海老原さんのご尽力により、構成団体23団体と存在感のある地位を築くまでに大きく成長してきました。

しかし私は、障害者手帳を取得したのが8年前で、障害者団体に初めて参加したのが4年前、そしてこのネットワークに参加したのが今年の4月のことです。そのため、本ネットワークの構成団体に関する理解も浅く、また障害福祉制度に関する知識も十分ではありません。ですから、海老原さんが代表辞任を表明され、次の代表を要請されたときは固く辞退した次第です。しかし、海老原さんをはじめ、ネットワークの役員の皆様の積極的なご支援を頂けるといことで、代表を引き受けることにいたしました。

海老原前代表のこれまでの功績に深い敬意と謝意を表するとともに、その後継を務める責任の大きさに身が引き締まる思いであります。障害者を取り巻く環境は、今後さらに変化することが予想されます。国連の『障害者権利条約』において、今年の2月19日に日本が正式に141番目の批准国となりました。本ネットワークにおいてもそのつながりを深め、東大和の障害福祉の制度がより充実し、市民の障害福祉に対する認識がより高まるように、微力ですが精一杯努める所存でありますので、どうぞ宜しくお願いします。

東大和障害福祉ネットワーク

代表 水谷 雅弘



### 前代表の挨拶

この東大和障害福祉ネットワークの立ち上げから9年が経ちました。障害者自立支援法が始まるに当たり、地域での横のつながりを強化していく必要性から活動が始まり、現在、市内の23の障害福祉団体で構成されています。今や、市の地域福祉審議会や自立支援協議会にも籍を置き、市の障害福祉政策にも影響力を持てる団体として、存在感を増しております。これも、構成団体の皆様のご理解とご協力あってのもの、感謝申し上げます。

市の障害福祉をよりよくするためには、人任せ（市任せ）にするのではなく、自分たちの無知や力不足を解消していく事が重要です。その上で、自分たちが理想とする障害福祉について、しっかりビジョンを持って取り組み続けることが大切です。そのため、市行政に対し「対峙の前に協働」を掲げ、自分たちにできることは何かを考え、自分たちの知識や経験を伸ばせるよう、様々な活動を行ってきつたつもりです。

私は、ネットワーク設立当初より、代表を務めさせていただいておりましたが、ここ数年での障害の進行・重度化により、ずいぶんしんどくなりました。また、同じ人間が代表を続けることにより、活動の継続性が確保できるというメリットがある一方、新しい視点が入りにくい、活動の内容に偏りができるなどのデメリットもあると思います。そのような理由から、この総会をもって、役員を下ろさせていただくことにいたしました。今後は、NPO法人 自立生活センター・東大和という一構成団体のスタッフとして、ネットワークの活動を下から支えていきたいと思っています。

皆さま、新体制のネットワークを今後ともよろしく申し上げます。

前代表 海老原 宏美

お知らせ！お知らせ！

## 災害時に東大和市災害ボランティアセンターが設置されます！

近年各地でいろいろな災害が起こった時、災害からの復旧に多くのボランティアが活躍しています。そのボランティア活動を支えているのが、各地に設置された災害ボランティアセンターです。災害ボランティアセンターは災害発生後ボランティア活動の拠点として設置され、困っている方の状況を把握し、必要なボランティアを派遣するコーディネーターや情報発信などを行います。

東大和市の防災計画によると、災害が起きたときこのボランティアセンターは社会福祉協議会が中心となり設置することになっています。これを受けて昨年「東大和市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」作成委員会が始まり、私たち東大和障害福祉ネットワークも会議に参加し、今年5月にマニュアルが完成しました。災害が起こったときはこのマニュアルにしたがって、住民主体、柔軟で個別的な対応で復旧を支援する災害ボランティアセンターが設置されることになります。

今後、災害時に迅速かつ円滑な災害ボランティアセンター設置、運営をするために「災害ボランティアセンター協議会」を設置し定例会を行い情報交換、訓練、研修会、市民への告知等を行います。協議会には東大和障害福祉ネットワークも参加しています。

**東大和市災害ボランティアセンターこれだけは知っておいてください。**

- ・ **災害の時困ったことに出会ったら災害ボランティアセンターに相談して下さい。些細なこと、細かいことも相談してみてください。**
- ・ **原則として災害ボランティアセンターはハミングホールに設置されます。**
- ・ **もし、余裕があればぜひボランティアとして活動にご協力をお願いします。**

災害ボランティアセンターに関する問い合わせ

東大和社協ボランティアセンター（東大和市社会福祉協議会内）  
042-564-0035



# 2015年度 役員紹介

役職	氏名	所属
代表	水谷 雅弘	東大和市視覚障害者福祉協会
副代表	田淵 規子	NPO 法人 自立生活センター・東大和
	平松 美佐子	東大和市手をつなぐ親の会
書記	田村 とも子	東大和市障害児の卒後を考える会
	森田 由美子	社会福祉法人みんなの会 第2みんなの家
	尾又 昇司	NPO 法人 ゆうらんせん
会計	脇田 正子	個人
役員	青木 博子	NPO 法人 食工房ぱる
	吉田 敏子	東大和市障害児の卒後を考える会
	佐藤 英樹	NPO 法人 自立生活センター・東大和
相談役	海老原 宏美	NPO 法人 自立生活センター・東大和
監査	小林 景子	NPO 法人 自立生活センター・東大和

## 構成団体

1	NPO 法人アダージョ ライブリィ工房
2	NPO 法人おれんじはあと 精神障害者グループホームなんがい
3	NPO 法人 グループゆう
4	NPO 法人 食工房 ぱる
5	NPO 法人 自立生活センター・東大和
6	NPO 法人生活支援センター207 あとリエトントン
7	NPO 法人生活支援センター207 第2あとリエトントン
8	NPO 法人 東大和けやきの会 PACE
9	NPO 法人 ゆうらんせん
10	社会福祉法人えいぶる かたつむりの会作業所
11	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 グループホーム フレンズ・モエ
12	社会福祉法人この指とまれ
13	社会福祉法人みんなの会 第一みんなの家
14	社会福祉法人みんなの会 第二みんなの家
15	社会福祉法人みんなの会 第三みんなの家
16	福祉保育労 みんなの家分会
17	東大和市視覚障害者ひとみサークル
18	東大和市視覚障害者福祉協会
19	東大和市肢体不自由児者を守る会つばさ
20	東大和市手話通訳者の会
21	東大和市障害児の卒後を考える会
22	東大和市聴覚障害者協会
23	東大和市手をつなぐ親の会

New!

New!

構成団体、個人ともに募集しています。

## 新加入団体の紹介です

今年度から新しく2団体が参加することになりました！  
みなさん、よろしくお願いします。

### 東大和市視覚障害者福祉協会 公益社団法人 東京都盲人福祉協会 東大和支部

皆さまこんにちは。そして初めまして。私たちは「東大和市視覚障害者福祉協会」といい、公益社団法人東京都盲人福祉協会の東大和支部と位置付けて、本年4月1日に発足した団体です。現在正会員6名、賛助会員3団体で構成されています。東大和市の視覚障害者の団体に「ひとみサークル」が伝統的にありますが、こちらは茶話会的な色合いが強いため、視覚障害者の福祉に対しては積極的に活動することができませんでした。そこで、視覚障害者の生活環境の改善や福祉サービスの向上、権利擁護の強化をめざし、視覚障害者が自立して地域社会と共生し、不自由なく充実して暮らしていくことを目的として本会を設立しました。

私たちは「あらゆる人が孤立したり、排除・隔離されたりしないよう擁護し、社会の構成員として包み、共に支え合う」というソーシャル・インクルージョン：社会的包摂（ほうせつ）の理念に、従って、東大和障害福祉ネットワークに加入しました。私たちは誕生したばかりで右も左も分かりませんが、どうぞよろしくお願いします。

### NPO法人 生活支援センター207 あとリエトントン

東大和市駅から徒歩約5分の場所にある、まもなく創立30周年を迎える作業所です。精神障害を抱えながらも、あるひとたちは病気をものともせず、またあるひとたちは辛い心身にどうか折り合いをつけながら、懸命に作業を行っています。地域で長く愛されている10種類以上のクッキーやぬくもりある革製品の制作、全国に顧客を持つパソコン事業が活動の柱で、加えてスポーツ活動や各種イベントも年間を通してたくさんあり、「トントンこそ私の職場」と思える環境づくりをめざしています。毎年10月には施設開放イベント「ハロウィーン」を行っています。ぜひおいでください。



## 映画 「うまれる」 上映会の報告

4月25日（土）に「うまれる」の上映会をハミングホールで行いました。

上映に先立ち、まずは宣伝が大事と、新聞やまと、市報、社協便り、TAMA ebooks に掲載させていただきました。チケット・ポスターも東大和障害福祉ネットワークに所属する団体をはじめ、幅広く呼び掛けていただきました。

そして迎えた当日、入場者は400人余、チケットは当日販売数60枚を含め、ぴったり500枚でした。内容的にもすばらしく、好評を得ました。当日のアンケートより一部を紹介します。

\*\*\*\*\*

- ・家族っていいですね。本当に感動しました。この映画、もっと皆に広めたい。
- ・子どもや母親との関係を見つめなおす機会となった。
- ・私を選んで生まれてきてくれた人ですね。今になって教えて頂きました。
- ・いのちについて、改めて考えることができました。
- ・さまざまな家族の形があり思いがあり、どれも深く心にしみました。
- ・私達は親にさせてもらったんだと、改めて実感。子どもに感謝。

そして、主催者の東大和障害福祉ネットワークとしても、

- ・映画の趣旨上、普段ネットワークとあまり関わる機会のない親子連れなどの客層がありよかった。
- ・教育委員会の後援を取っていたのに学校関係への周知が不足していた。中学生くらいに観てほしい。
- ・続編の「うまれる ずっといっしょ」も、上映希望がある。この熱の冷めないうちに上映すれば、今回のお客さんがまた来てくれるかも。

などの感想が出されました。以上、当日お手伝いして下さった皆さん、そして映画を見に来てくれた多くの市民の皆さん、本当にありがとうございました。



日時:2015年4月25日(土) 開場 午後10:00、上映 午後1:30 子ども虐待防止キャンペーン参加  
 会場:東大和市民会館ハミングホール 大ホール(四階6-1)  
 一般席:1000円 割引券1000円(障害者・付添い1名・小中学生) 全席自由  
 主催:東大和障害福祉ネットワーク 宇幕・音声ガイドあります  
 協賛:東大和市 / 東大和市民会館協議会 / 東大和市教育委員会



# 市役所庁舎 耐震工事の影響は???

7月から、東大和市役所の耐震化工事が始まりました。現在は北側の砂利駐車場の半分が足場などの資材置き場となり、大規模な工事であることがうかがえます。また、中庭のタイルの改修工事も計画され、工事は来年6月までかかるとの事です。最近の立て続く地震の状況、さらに中庭のタイルも損傷がひどくなっていたので、どちらも必要な工事なのだと思います。

とはいえ、1年間の工事期間、庁舎と周辺の使用ができないとなると、その影響も大変大きくなります。

例えば・・・

- \* 産業祭・福祉祭・環境市民の集いなど市民の多くが楽しみにし、参加していた催しができない。  
産業祭・福祉祭は会場が中小企業大学校となり、特に福祉祭は、テント代2万円、机1000円、イス300円など出店経費が今までより大幅に増額となり、参加を取りやめる福祉団体が続出、福祉祭の成功が危ぶまれます。
- \* 東大和共同作業所連絡会が行っていた、年7回の市役所ロビー作品展が、1年間できない。  
市役所での作業所の自主製品販売は、利用者の工賃収入確保のため、また、利用者自身が販売できる大変重要な機会であり、これがなくなると利用者にも今までの給料を支給するのも困難になります。他の方法での販売や工賃確保が必要です。
- \* 食器のリサイクル、産直野菜の販売は、毎週木曜日に市役所ロビーで行っていましたが、工事期間中は中央公民館前で行っています。
- \* みんなの家のまつりなど、工賃収入確保、地域との交流を目的に、施設独自で恒例で行っていた行事が実施できないため、他の場所を探さなければなりません。

工事が本格化してくると、更にいろいろな影響が出てくるかもしれません。

まずは、市民が安全に市役所を利用できる事、また、上記のような影響がある中、その対策についても知恵をしばって、工事期間をなんとか乗り切れるようにしたいものです。

## (仮称) 東大和市総合福祉センターについて

今年、5月から建設工事が始まりました。現在は土台となるべき地下掘削工事が行われているそうです。しかし今のところ具体的な中身については全く公表されていません。

これから少しずつ色々な情報が公開されると思いますが、福祉の拠点であり市民にとっても大切なセンターなので今後も注意深く見守っていきましょう。

# 障害福祉係の

# お仕事&職員

## を紹介します

障害福祉課障害福祉係では、身体障害児・者及び知的障害児・者の「ケースワーク業務」のほか、さまざまな業務を行っています。

ケースワークとは、障害のある方お一人おひとりに対して、個別の相談や支援を行うことです。5人（1人産休中）の担当で、市内の地区ごとに担当をしています。この5人と臨時職員を束ねているのが障害福祉係長です。

ケースワーク以外の業務は多岐にわたります。最も比重が大きいのが障害支援区分の認定調査とサービス支給決定。今年は3年に一度の区分更新の年。皆さんのところへ伺ったり、地方の施設などに飛び回っております。その他、自立支援協議会の運営、障害者虐待防止センター、就労支援、補装具・日常生活用具、ガソリン・タクシー助成、マル障、手話通訳者派遣などなど。やることはたくさんですが、係一丸となって業務に励んでおります。

### ◆三浦

担当：芋窪・蔵敷・南街・立野・桜が丘  
★皆さんの様々なニーズにお応えできるよう、柔軟に対応していきます。

### ●大竹

担当：狭山・仲原・上北台  
★地区の方のご相談の他、マル障、手話通訳派遣の担当をしています。よろしくお願いします。

名前の前の  
◆=男性  
●=女性

### ●内田

担当：清原・清水・奈良橋・湖畔  
★育休から5月に復帰しました。新たな気持ちで頑張りますのでよろしくお願いいたします。お気軽にご相談ください。

## 障害福祉係

### ◆熊谷

担当：中央・高木・新堀・向原  
★皆さんのお話を聞かせてください。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

### ◆西田

障害福祉係長  
★「障害のある人もない人も、共に生きていけるまち東大和」を目指してがんばります。

### ●内野

★現在、産休中。

### 臨時職員

- 西さん…補装具・日常生活用具の担当
- 浅見さん…障害者手帳の担当
- 福田さん…都営交通、民営バスその他担当

お気軽にご相談ください



# 『障害のある方の災害時支援いろは歌』 (仮称)作成に関する募集!

東大和市地域自立支援協議会防災・防犯部会で、災害時の障害のある方への支援について、市民の皆様により理解を深めていただくために、(仮称)『障害のある方の災害時支援いろは歌』作成に取り組むことといたしました。

そのため、障害のある方や関係者の皆さんから、「災害時に、こんなことで困ってしまう」、「災害時や困ったときにこんな支援があると助かる」というような思いをつづった『いろは歌』を募集いたします。

集まった作品を参考に、防災・防犯部会にて『いろは歌』を作成し、災害時の障害者理解促進に活用していきます。ご協力をお願いします。

- ▽応募について
- ◎一人何首でも可。原則として「5・7・5」調にして、カッコ書きで障害の種別を記入してください。
  - ◎作品は、自作で未発表のものに限ります。著作権は東大和市に帰属します。
  - ◎今回の募集は『いろは歌』作成の参考とさせていただくものです。実際に防災・防犯部会が作成する『いろは歌』では、内容が調整・改変される場合がありますので、ご注意ください。

■作品例■  ゆ 誘導は <sup>やさしい</sup>口調で <sup>て</sup>手を添えて (知的障害)

し 情報 <sup>は</sup> <sup>音</sup>だけでなく <sup>文字</sup>にして (聴覚障害)

▽応募方法 持参、郵送、ファックスまたはメールで、①作品(漢字にはふりがなを振ってください) ②氏名(ふりがな) ③連絡先を記入し、障害福祉課へご応募ください。様式は自由です。

※取得した個人情報は、本企画に関連する業務に限り使用します。

▽応募締切 9月30日(水)

▽応募先・問合せ 東大和市福祉部障害福祉課障害福祉係  
〒207-8585 東大和市中心3-930  
電話 042-563-2111 内線1123  
FAX 042-563-5928  
E-mail shogaifukushi@city.higashiyamato.lg.jp



# 東大和障害福祉ネットワークを 一緒に拡げていきましょう！

インクルージョンをめざして  
障害者権利条約を地域の隅々に！

## 東大和障害福祉ネットワークとは？

東大和市の地域福祉を充実していくために、地域で抱える課題をみんなで共有し、一人でも多くの方が手を取り一緒になって考えていくことが大切と考えます。

この想いを元に、市内の障害当事者・家族・事業所の方々が賛同し、平成18年に東大和障害福祉ネットワークが発足し、活動をスタートさせました。その後も、より多くのご賛同をいただき、現在市内23の事業所・関係団体や当事者・ご家族の方々から構成されています。

活動内容として、定期的な話し合いの場を通じ、障害福祉に関する課題の共有・意見情報交換・学習会、映画上映、また情勢に応じ、行政への要望や提言、市民の方への啓発活動も兼ねた、講演会の開催等行なっています。

### 「障害者が安心して暮らせる街」と

### 「インクルージョン（共生社会）の実現」をめざして

2014年1月20日、日本はようやく「国連障害者権利条約」140番目の締結国になりました。権利条約の持つ理念を深く理解し、国内関係法を含め、それらを今後、地域福祉にどう活かしていくのか？が大きなテーマとなります。そのため当事者、関係者はもちろん、広く市民の方や行政と権利条約の理念を共有することが大切だと思います。当ネットワークはその活動にも今後力を入れたいと考えています。その活動を強めていくために、市内のより幅広い層のご参加、ご協力が必要となっていきます。私たちと、一緒に考え活動し、「障害を持つ人も持たない人も共に安心して暮らせるまち東大和」をつくりませんか？

皆さまのご参加をネットワーク一同お待ちしております！

今後も引き続き、活動の幅と質を高めて「障害者が安心して暮らせる街作り」をめざしたいと思います。

## 東大和障害福祉ネットワーク 参加申込書

団体名（個人名）

住所

電話&ファックス

〇〇●〇〇〇●〇〇〇●〇〇 申し込み&問い合わせ先 〇〇●〇〇〇●〇〇〇●〇〇

東大和障害福祉ネットワーク代表 水谷 雅弘（東大和市視覚障害者福祉協会）

電話；042-567-2622 FAX；042-567-2912（自立生活センター東大和内）